学校番号	1008

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習ⅡBC	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	ニューグローバルマーチ数学Ⅰ＋A＋Ⅱ＋B＋C　新課程　（東京書籍出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考え発表する活動を行います。
・問題集用のノートを用意してください。
　問題集の問題をまず自分で解いて各自答え合わせをしてください。自分がどこでつまずいたかを知ることは大切なものです。
・家庭学習における課題は、定期的に提出があります。
・授業時に表現力をつけるため課題解説をしてもらいます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　数学Ⅱ・Ｂ・Ｃの基本的な概念や原則・法則を理解並びに数学的な解釈をし、表現・処理することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
　数学的論拠に基づいて問題の解法を解説し、説明された内容を批判的に考察・判断ができる。
　数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現しようとする。
【学びに向かう力、人間性等】
解説された解法について深く考察しようとする。粘り強く考え数学的論拠に基づいた解答をしようとする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数学ⅡＢＣの内容の暗記にとどまらず，本質的で汎用性のある知識・技能を身に付ける工夫がある。 その項目で学ぶことを，全体像の中の位置づけとともに把握する。	思考力・判断力・表現力を養う工夫がある。 「深める」として，思考力，判断力，表現力の基礎を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養い、生徒が自分で問題を読み進められる工夫があるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学Ⅱ	式と証明 複素数と方程式 点・直線・円 三角関数(1)(2)	a: 公式の利用適用ができる b: 公式等の利用が理解できる。 c:考察をする。 グループワーク,	確認テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	数学Ⅱ	指数関数 対数関数 導関数と接線	a: 定義を理解し，法則を用いた計算をすることができる。 b: グラフによって考察することができる。 c: 指数と対数との相互関係に興味・関心をもち取り組む。	確認テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
2	数学Ⅱ	微分の応用 不定積分・定積分 面積	a: 利用して，グラフをかいたりすることができる。 b: 実数解の個数を，関数のグラフと x 軸の共有点の個数に読み替えて考察できる。 c: 面積 $S(x)$ が関数 $f(x)$ の 1 つの不定積分であることに興味・関心をもち，考察しようとする。	確認テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
	数学B	等差数列・等比数列 等々の数列 漸化式と数列 統計的な推測	a: 数列に関する用語，記号を適切に用いることができる。 b: 最大，最小について考察することができる。 c: 性質に興味をもち，問題解決に利用しようとする。	確認テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題
3	数学C	ベクトルの基本 平面ベクトルと図形 空間ベクトルと図形	a: ベクトルを使い求めることができる。 b: ベクトルの意味を解釈し，説明することができる。 c: 様々な図形の考察にベクトルを活用しようとする。	確認テスト 定期テスト	単元テスト 定期テスト ワークシート	ワークシート グループワーク 宿題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度